



## 永遠に榮えある白陵

### 平成十六年版白陵会名簿 十二月下旬発刊

前回の同窓会名簿は今から七年前の平成九年に発行しましたが、その後、会員諸氏の住所も大きく変動しています。

既にお手許へ名簿発行用の「調査カード」をお届けし、購入予約の受付や贊助広告の募集を行つておりますが、今回の名簿作成にあたつては、事務処理から印刷・発送までを名簿作成専門会社である(株)サラト(本社姫路市)に依頼しました。会員数も六千六百余名余を数える大所帯となり、日本各地は勿論のこと遠く海外で活躍中の会員も見受けられる昨今、従来の手作り作業で正確な名簿を作成することは極めて困難と予想されたので、専門会社のノウハウを取り入れ可能な限り詳細で正確な同窓会名簿を作成する計画を立てました。本部所蔵の原簿に加え、各期、各クラブ、各地域、各職域等の各類の名簿を取り寄せて現在判明している同窓生全員に調査カードを送付し、本人に関する事項の検閲を依頼すると共に、同期生に不明者の情報提供を依頼し新たに判明した方には再度連絡を取つて原稿の作成を進めております。

母校は創立40周年を経ていよいよ発展の一途を辿り、卒業生が各方面で大車輪の活躍を続けておられるることは誠に頗もしく嬉しい限りですが、分散しつつある会員の住所を正確に把握し定期的に名簿を発刊することは同窓会の使命であると考えています。卒業生の活躍する姿を母校の歴史と共に永遠に刻み続けてゆくために会員の皆様のより一層のご協力をお願いいたします。

## 一喜一憂——ご挨拶にかえて——

理事長 三木 一正



うだる様な暑さの中、創設者三木省吾先生の命日にあたる七月十五日、わが白陵野球部は地元高砂球場において、全国高校野球兵庫大会に出場、来年から一本化する武庫莊、武庫莊総合の合同チームと対戦、一回の表に一挙四点を取られながらも四・五回に一点を取り返すが、敵もさるもの六回に一点を追加、しかしわが方もその裏大量得点、六対五と二時は逆転、あわやと思われたのもつかの間、七回表に再び五点を取られて勝負あつた。終わってみれば六対十と敗れてしましましたが、わが応援団は最後迄礼儀正しく相手チームにエールを送り球場をあとにしたのです。何故野球のこととこれ程までに書くかというと、実はこの原稿の提出期限には野球はまだ終わっておらず、学園長の命日に出場のスケジュールだけを元に予想記事として故学園長の魂がダンチ入りして勝利するという筋書きだため、編集子が大慌て、いまや当の本人の私が書き直しに目を白黒させているところです。それにしても、今白陵高三の一人がドイツのキールで開かれている国際化学オリンピックの日本代表四人のうちの一人に選ばれて、世界の舞台に挑戦しています。健闘を祈っていますが、また予定原稿にならぬよう紹介に留めることにします。

最近、新聞のコラム「学校と私」欄に「世に学園長より怖いものなし」と題する文を載せたのは十五期生の不肖宮嶋こと宮嶋茂樹氏ですが、やはり恐いと言えば、これ又超こわいで有名だった柔道の藤田家将先生（兵庫県柔道連盟会長）もこの三月で退職、当初の卒業生諸君からすれば懐かしい恩師の顔が見られなくなるのはとても寂しいことかもしれません。その一方で、白陵生え抜きの校長、教頭が誕生しました。吉田卓校長（物理）川副義文教頭（体育・二期生）が浅江季典校長のあとを受けての登場です。加えて副校长に斎藤興哉先生（前神戸高校校長・公立校長会会長）の陣容でのトロイカ方式による新しい白陵を見て下さい。決して平坦な道ではありませんが、今春の大学進学でも別項の通り全国区にランクされるまでになりました。文字通り「喜憂」ですが歩歩前進していくと思います。

最後になりましたが、卒業生諸兄姉のご健勝とご多幸を祈念し、変わらぬご支援、ご鞭撻をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

## 退任のご挨拶

前校長 浅江 季典



白陵会の会員各位にはますます御健勝のことと拝察し、心からお慶び申し上げます。さて、私は平成16年3月末日をもって、白陵中、高等学校の校長を退任いたしました。6カ年間の在任中には白陵40周年記念棟建設を初め各方面において、白陵会の皆様から惜しみない御支援を賜り心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

私事で恐縮ですが、6月末の10日間、妻と2人イタリアを訪問いたしました。中学生の頃に初めて教科書で知つてから、是非一度は原画を見たいと念願していた2枚の壁画を鑑賞してまいりました。

その2つは、修復が終り最近公開されるようになつた、システムイーナ礼拝堂（白陵の記念棟と、ほぼ同じ面積）のミケランジェロの『最後の審判』であります。左側が天国、右側が地獄を現していますが、天国は大変大勢の人々が描かれ人々過密ですが妙なる楽の音が流れ、束縛がない社会と表現されています。人口稠密で衣食住を分配する人が極端に少なく、13,000曲が入るパーソナルな音楽再生装置が比較的安価な価格で販売されている日本の現状は、ミケランジェロの描く天国と現代日本とは類似点が多いなど感じながら鑑賞いたしました。

もう一つは、ミラノのダ・ビンチの『最後の晩餐』であります。私たちが今まで目にした絵は「こつてり」した色の濃いものでしたが、過去の修復の色を落としてダ・ビンチ時代に戻したものは、どちらかと言えば水彩に近い淡白な色調に驚きました。

ミケランジェロ、ダ・ビンチという2人の天才芸術家の傑作に直接触れ感動いたしました。英語の『傑作』即ちmasterpieceと言う語には、現代使われている意味と異なる意味もあります。それはギルド制度の下で徒弟が親方から独立する時に制作した作品を意味し、現代風に言うならば卒業制作、卒業論文に当たるものであります。親方の徒弟の指導の仕方は各生徒の進路に応じて徹底して必要な知識、技能を身につけさせ、個々の生徒の個性を豊かに發揮させる基礎を修得させる白陵の英才教育と共にしている点が多いと思い、これらの絵画を見ながら白陵の英才教育の時代や空間を超えた普遍性を強く感じた旅でもありました。

最後になりましたが、白陵会の皆様がそれぞれの人生に於いて、何かのmasterpieceを手にされるように祈念しながら退任に際してのご挨拶といたします。



## 就任のご挨拶

校長 吉田 卓



## 大変なことに……

教頭 川副 義文

盛夏の日々、厳しい暑さの毎日を迎えていますが、白陵会会員の皆様には、益々御健勝の事と存じ上げます。

白陵会の皆様には初めて御挨拶申しあげますが、私、理事会より指名を受け、4月1日付で白陵中学校・高等学校の校長に就任いたしました。行政経験も豊富なベテラン校長の浅江先生の後任として、不安を持ちながらのスタートでしたが、瞬く間の一学期であったように思います。

昭和47年、大学卒業後すぐに理科教師として着任し、以来32年間現場教師として、白陵一筋で来ました。今日の日本社会の中で何かと問題視されている団塊の世代です。始めの10年は亡き園長先生の厳しい指導の下で経験を積むことができた事は、私の教師生活の大きな礎となっています。また、当時は山のように大きくなれた園長先生より年上になってしまった自分を振り返って見て、誠に不思議な感じを抱いています。

さて、我が白陵は2年前(平成14年)には創立40周年を迎え、新たな歴史へのスタートを切りましたが、幸先よく、今春の大学入試では現役の国公立大学合格率は70パーセントを超えるなど、史上最高の実績を上げることができました。この結果は偶発的なものではなく、具体的な数字が得られない中、悩み苦しみながら協力と工夫の積み重ねがはじけたものだと思っています。今必要な事は、結果が出た喜びに流されるのではなく、教訓を抽出し、具体的な形として下学年へ伝えてゆく事です。

皆様既に御承知のように、白陵は旧制姫路高校のあり方をその基本精神とし、「教養と節度」をモットーとします。つまり、日々の学校生活の中で、学問に対する、真理追求に対する強い志と、真摯な態度が育まれる事が課題であり、そのあらわれが大学入試の結果となるのが、白陵の求める所であります。大学進学成果を求める姿勢と、学問に対する真摯な態度が、白陵の中では対立的に存在するのではなく、お互いに正反対の刺激を与え合う学校生活の中における基本要因として存在し続けるよう、教職員全員の連携をはかりながら生徒達に対してゆきたいと願っています。浅学非才の私ですが、斎藤興哉副校長、川副義文教頭という二人の力強い助けを得て、精一杯の努力をする所存であります。白陵会会員の皆様には力強く、あたたかい御指導とご協力ををお願い申し上げます。

盛夏の頃を迎えたが、皆様方には益々清祥ご活躍のことと拝察し心からお慶び申し上げます。

小生白陵での教員生活、今年で34年目に入り、体育の教師として授業・部活動や生徒指導を中心には自分なりのライフスタイルを貫いてまいりましたが、今春突然教頭職を命じられ今までと全く違う様な教員生活をせざるを得ない事になりました。思えば、白陵の「教頭」といえば、人格者の初代川戸先生に始まり、輝かしい教師実績を持つおられた山本(武)先生、吉岡先生、そして学者肌で厳格な濱田先生、誰からも好かれ、人間味豊かな前任の中安先生と、それぞれがそのすごい能力で学校内部を統括された方々ばかりです。そういう業務を本当に自分でこなしが引け継いでゆけるのかと苦惱しながら4月から日々、黙々と諸務をこなし長い一日を過すうち、早一学期が終えようとしています。さて、今年度は、学校説明会に行く機会も増えましたが、どの会場でも白陵に対する関心・評価が高まっているのを感じました。とりわけ進学指導はもちろんですが、白陵の生活指導にも注目されている様です。高度経済成長時代が終り、家庭を含め地域共同体の結束が弱まり、大人の社会からは共通の価値観が失なわれつゝ有り、個人を絶対視し、やさしいもの判りの良い親が求められ、さらに学校は個性尊重・自由・人権第一」という考え方によつて揺さぶられ、自由・ノビノビ・ゆとり路線がもとへはやされ、校則や管理教育が批判の対象とされる時代にあつて子供の学校での躾教育(基本的生活習慣)の指導に創設期より手法は変えながらも重点を置いてきた白陵の教育実績が新鮮で頗もしくうつるのかも知れません。これが時代に媚びず、流れが終始貫創立の理念を守り続けてきた校訓にも諦つてゐるまさに白陵の「独立不羈」の精神ではないかと思います。

今春すばらしい成績を残し39回生が卒業しましたが、これで57才から18才までの6620名の卒業生を世に送り出している学校になりました。そして今年度上半期だけで新聞や雑誌に私が知る限りだけでも様々な分野で活躍している7名の方方が紹介されています。その他にも「研究と訓練」によって得た「独立不羈」の理念、又それに裏付けられた自信でもつて、「正明闘達」の姿勢を保ち社会で活躍されている方々も多数おられます。世は「成長」の時代から「成熟」の時代へと移行したといいますが、白陵は成長を続けながらも成熟してきていると言えるのではないでしょうか。小生も与えられた使命に対し、皆様方に負けない様努力するつもりですので何卒、御支援・御指導を宜しくお願い申し上げます。



## 更なる飛躍を願う

白陵会会長 沼田 好道

夏真っ盛りとなり夏祭りや花火大会で賑わっていますが、会員の皆様方にはますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。平素は本会活動に協力をお賜り誠にありがとうございます。

母校は今春の大学入試において鮮やかな大躍進を遂げました。東大現役合格力全国11位、(女子だけに限ると全国3位)、国公立大医学部合格力全国4位、等々、週刊誌上を白陵の校名が躍動しました。ここ数年、好成績を残してはいたものの期待した成績には今歩の感があつただけに今春の成績はその重苦しかった雰囲気を一気に払拭したものとなりました。浅江前校長の花道を飾り、吉田新校長の門出を祝うに相応しい輝かしい成果であったと思います。浅江先生は引き続き理事として学園に残りますが、6年間にわたり顧問として本会の活動にお力添え頂き大変お世話になりました。また、新任の吉田校長は白陵生え抜きの新しい世代の校長として、斎藤副校長と2期生の川副教頭と力をあわせ、50周年に向けて更なる飛躍を遂げられますよう祈念申しあげます。

さて、同窓会活動の原点とも云うべき名簿作成ですが、ご案内の通り今回から専門業者に依頼しました。しかし、会員の皆様のご協力が最大唯一の拠り所であることに変わりはありません。調査カードへのご協力や、住所不明者の情報提供、協賛広告など、会員の皆様方より倍旧の温かいご支援を賜っておりますことに心より厚く御礼申しあげます。12月の完成の暁には、会員の皆様方のご活躍振りが新しい名簿で拝見できると今から大いに楽しみにしております。引き続き宜しくご協力賜りますようお願い申しあげます。

国内外共に世情不安定で不透明な時代ですが、白陵時代に培った高い倫理観や強い責任感、勇猛心が我々自身を守ってくれているのではないかでしょうか。そして、我々卒業生一人一人の存在が白陵の伝統と校風を確立させてゆくのだと思います。会員の皆様方におかれましては、自己に更に磨きをかけられ、それぞれの分野で二層のご活躍をされますようお祈り申しあげます。

## 白陵会役員名簿

平成16年7月3日現在

役名	期	氏名	役名	期	氏名	役名	期	氏名
会長	3	沼田 好道	常任幹事(広報)	13	矢野 善人	常任幹事(総務)	36	内田 理恵
副会長	2	湖中 明憲	〃(総務)	14	片山 安孝	〃(総務)	36	杉岡 央基
〃	3	天野 泰文	〃(総務)	16	田中 正一	〃(総務)	37	伊賀真紀子
〃	6	上田 喜裕	〃(総務)	18	秋田 直樹	〃(総務)	37	亀山 信生
理事事(校内幹事総)	11	宮崎陽太郎	〃(総務)	19	牛尾 英樹	〃(総務)	38	上野 紘之
〃(研)委員長)	3	神吉 裕資	〃(総務)	21	河合 恵介	〃(総務)	38	堀 泰史
〃(研)副委員長)	4	森崎 晴知	〃(総務)	22	新田 智弘	〃(総務)	39	猪股久美子
〃(総務)	9	村角 伸一	〃(総務)	22	野津 康弘	〃(総務)	39	根木 厚
〃(総務)	10	吉田 達哉	〃(広報)	23	三木 健史			
〃(広報委員長)	10	下村 康夫	〃(総務)	23	中里 寛	校内幹事(広報)	1	芳木 健憲
〃(広報副委員長)	11	志方 正彦	〃(総務)	24	奥本 光廣	〃(総務)	2	大内 義博
〃(会計)	10	加藤 雅宣	〃(総務)	24	藤原 省悟	〃(総務)	3	長濱 憲雄
〃(広報)	19	尾上 尚樹	〃(総務)	25	多根 正明	〃(総務)	3	黒田 洋
〃(総務)	20	石井 秀武	〃(総務)	27	山田 将義	〃(総務)	4	原田 正和
書記	17	岡野 清和	〃(総務)	28	柿本 晴彦	〃(総務)	6	福井 孝昌
会計監査(研レ)	15	町田 直隆	〃(総務)	28	松本 守弘	〃(総務)	11	小紫 一貴
〃(広報)	6	大崎 章快	〃(総務)	29	岡田 康裕	〃(総務)	12	畔上 昇
常任幹事(広報)	1	伊藤 達也	〃(総務)	29	浜田 賢太郎	〃(総務)	12	山口 透
〃(総務)	1	芝本 真須美	〃(総務)	30	上新 貴弘	〃(総務)	12	中村 大吾
〃(総務)	1	武田 久美子	〃(総務)	31	酒井 雅史	〃(総務)	14	久保 博彦
〃(総務)	1	正井 和野	〃(総務)	31	木下 智晴	〃(総務)	15	村上 幸生
〃(総務)	4	岸本 和男	〃(総務)	31	村山 稔	〃(広報)	15	西 善弘
〃(総務)	5	塙崎 育男	〃(総務)	32	酒井 勇人			
〃(研レ)	5	橋本 義仁	〃(総務)	32	伊賀有紀子	顧問(理事長)		三木 一正
〃(総務)	7	萩本 義郎	〃(総務)	33	藤井 拓郎	〃(校長)		吉田 卓
〃(総務)	8	山戸 敏彦	〃(総務)	33	魚橋由美子	〃(教頭)	2	川副 義文
〃(総務)	8	黒川 仁	〃(総務)	34	八尾 晋典	〃(参考)		中安 久隆
〃(総務)	9	鄭 幸男	〃(総務)	34	牧野 琢丸		1	遠山 寛
〃(研レ)	12	吉野 太司	〃(総務)	35	石川 美帆		1	黒坂 康夫
〃(総務)	13	水田 堅	〃(総務)	35	阪本 寛		1	黒川 芳一

## 平成16年大学入学試験合格者数

国公立大学			
大学名	14年	15年	16年
東京大	29	23	32
京都大	23	12	24
大阪大	33	22	28
神戸大	11	16	21
北海道大	3	3	6
東北大	2	1	2
一橋大	7	3	5
筑波大	1	1	1
東京工業大	2	2	
横浜国大	2	4	2
岡山大	6	7	18
広島大	2	3	2
九州大	2		1
大阪市大	1	7	4
大阪府大	5	7	9
その他	40	48	63
合格者計 (内医学部医学科)	169 (23)	159 (26)	218 (42)

私立大学			
大学名	14年	15年	16年
早稲田大	31	34	33
慶應大	37	25	42
上智大	1	1	1
中央大	5	10	16
東京理大	9	7	9
関西学院大	34	25	30
関西大	5	11	16
同志社大	20	20	23
立命館大	20	26	38
近畿大	3	5	4
大阪医大	5	1	2
兵庫医大	6		2
京都薬大	2	2	2
神戸薬大	3	3	6
その他	28	44	48
合格者計 (内医学部医学科)	209 (21)	214 (11)	272 (10)
卒業生数	183	183	184

追悼



初代教頭 川戸 茂先生

川戸茂先生が本年6月9日、老衰のため93歳で逝去されました。

心よりご冥福をお祈り申しあげます。

先生は白陵創立と同時に初代教頭として京都府教育委員会から本校に招かれ故三木省吾園長先生を補佐され草創期の学校作りに多大の功績を残されました。また保健体育教師として寮監長として多くの卒業生に温かいご指導を賜りました。

先生のご訃報に接し、新任当時に先生の薰陶を受けられた旧職員の赤松初夫先生に追悼文をお願いしました。

## 「川戸先生大往生」に想う

旧職員 赤松 初夫

川戸先生の訃報に接したとき、畏敬と感謝の念を覚えずにはおれなかつた。寂しさは感じない。それを許さぬ優しさと冷厳さを備えたお人柄の先生だつた。1963年、白陵開校と同時に、先生は教頭として赴任。生徒指導はもちろん、大学卒業したばかりの経験の浅い若い教師集団の育成に尽力し、教師としてはまだ未熟だった園長先生(創設者三木省吾)を補佐し、誕生したばかりの白陵を必死で支えた。揺籃期の苦しい十年間、先生は文字通り身を挺して八面六臂の活躍で、今ある白陵中学・高等学校の礎を築かれた。

65年、私は寮監兼務で赴任した。寮監長兼務の川戸先生の指導を受けながら同じ金の飯を食うという幸運に恵まれた。同年秋、大型台風が白陵を直撃。休業寮生は全員寮内で恐ろしい一日を過ごすという羽目に陥った。屋根瓦が飛散し、窓ガラスがおびただしく割れた。二階のほとんどの寮室の窓ガラスの破片がベッドや床のタイルに突き刺さっているのを見て慄然とした。いちばん寮生を階下に降ろして大惨事から救つた先生のとつさの機転に、私は畏敬の念を覚えたものだつた。

先生は、「創立十年という節目に、後進に道を譲る」とさうぱりと退職されたかと思うと、朝日新聞京都版の俳句の選者となられ、俳人としてご自分の人生に有終の美を添えられた。そして、茜雲の向こうの水平線に静かに沈む美しい夕日のように、当然のごとく歿したのだった。

天国に召された川戸先生、園長先生とお二人で、下界の白陵を見ていかなる感慨を持たれていることだろう。

## 藤田家将先生御退職記念・兵庫県体育功労賞受賞 祝賀パーティー



40年の長きに亘って白陵に在職された藤田家将先生が本年3月31日をもって退職されました。藤田先生といえば、時に厳しく、時に理不尽に、時に肉體的なご指導で全白陵生の心と体に深く感銘を刻んだ熱血先生でした。

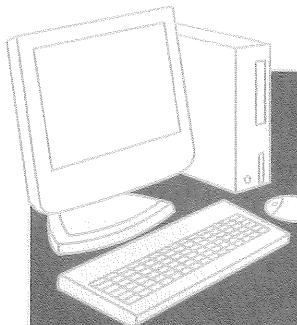
その先生の御勇退を慎んで祝すとともに「兵庫県教育功労賞」に続き本年受賞された「兵庫県体育功労賞」を祝し、さらに「2006年兵庫国体」の推進を担われる先生を激励しようと5月8日、ボートピアホテルにて御退職記念パーティーが開催されました。

このパーティーは白陵高校柔道部OB会が主催し、兵庫県柔道連盟、兵庫県高校体育連盟柔道部委員会及び高砂柔道協会のご代表が発起人に名を連ね、県内の柔道関係者約200名が集結した盛大なパーティーとなりました。白陵からも、三木理事長、吉田校長はじめ、旧・現先生方、沼田白陵会会長、湖中・天野同副会長、現役高三生、ご父兄等多くのご出席をいただき、大いにパーティーを盛り上げていただきました。

藤田先生の白陵最後のパーティーであること、出席いただくのが鉢たる方々であるということから、決してしくじれない、粗相を犯せないとの極度のプレッシャーのなか準備を進めて参りましたが、バイキング形式の食事があつという間に無くなつたこと以外（さすが柔道関係者食べる！）目立つた不都合もなく、円満な（これが一番！）雰囲気のなかパーティーを終えることができました。

引き続き同ホテル内での二次会にも80名を超す方々に参加頂き、先生の天理大学の御友人より「白陵柔道部の唄」を頂戴したり（爆笑しましたがどんな唄だったかもう覚えていません）、全員で「白陵歌」を合唱したり（歌詞を知っていたのは4、5人でしたが・・・）、延々延々と盛り上がり続けました。藤田家将先生から「生涯で一番楽しいパーティーだった」とスピーチで言って頂いたのが何よりの喜びでありました。

自他ともに認める天上天下唯我独尊・法即ち自分の藤田先生が白陵人生をこのように多くの方々に祝福され幸せに終えられるのを目の当たりにし、自らの生き方を考え直す報告者がありました…。なお、先生は現在「姫路獨協大学柔道部師範」の傍ら兵庫県柔道界の指導者として益々ご活躍中であります。ほんと、いつまでもお元気です！



## 完成から丸1年 パワーアップしました 「白陵会ホームページ」を ぜひ一度ご覧になって下さい！

※「白陵会」で検索すると、たどり着けるはずです <http://www.dosokai.ne.jp/hakuryokai/>

**その1** 懐かしい「白陵校歌」「白陵応援歌」「白陵寮歌」のメロディーが、ネット上から聴けるようになりました！

**その2** 「同窓生コーナー」の「フリー掲示板」は、登録なしに、どなたでもすぐに書き込みできるようになりました！

**その3** 「理事役員掲示板」を設け、理事役員間での意見交換が、ホームページ上で可能となりました！

**その4** 「恩師は今」「活躍中の同窓生」「部活動のページ」「同期会報告」など、内容充実・更新しています！

**その5** 今後、強力なスタッフを得て、改良・改善を重ね、どんどんバージョンアップしていきます！

### そこで、白陵同窓生の皆様に「7つのお願ひ」です！

**その1** まずトップページを「お気に入り」に追加して下さい。

**その2** 感想でも何でも、一言でも結構です。ご遠慮なく書き込みして下さい。

**その3** 同期会の開催予定等のある方は、ぜひとも書き込んで下さい。

**その4** 「恩師は今」「活躍中の同窓生」など掲載を希望される方を、リクエスト下さい。

**その5** 個人や会社のホームページを持っておられる方は、リンクさせて下さい。

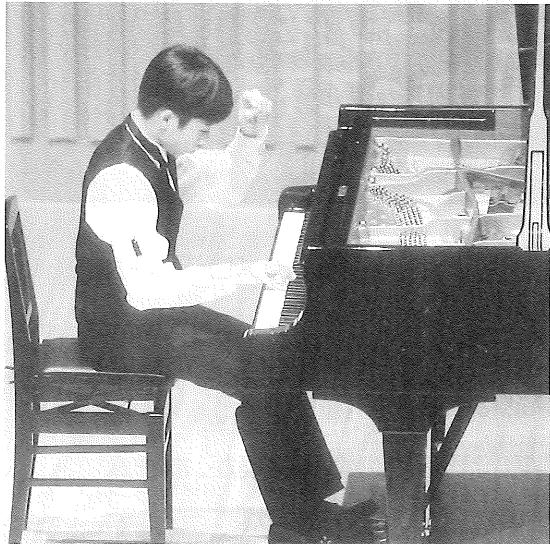
**その6** 月に1回は、更新や新たな書き込みがないか、見に来て下さい。

**その7** このホームページが長続きするよう、温かい心で応援して下さい。

### よろしくお願ひ致します。

# 活躍する在校生の紹介

高校生ピアニスト 高1 鯛中 卓也君



化学者の卵 高3 神戸 徹也君



27

毎年全国の高校生を対象に、化学の実力を競い合う「全国高校化学グランプリ」が開催され、本校からも多数の生徒が出席し、過去にグランプリを獲得した卒業生もいました。

昨年、一〇〇名を越える参加者が受験化学を超えた大学教養レベルの一次選考（筆記試験）に挑戦し、合格した六〇名が薄層クロマトグラフィーを使って反応の進行具合を分析する実験を行いリポートする二次選考に臨みました。その結果、銀賞を受賞した現在高校三年生の神戸徹也君が、七月十八日～二十七日までドイツ・キールで開催された第三十六回国際化学オリンピックに日本代表生徒四名の一人に選ばれて出席しました。本番では世界六十一カ国から二三四人の化学者の卵が集まり、理論と実験の試験は一〇時間にも及びました。

『難問に直面してもとことん考え抜く粘り強さ』が神戸君の持ち味と評価する顧問の谷川先生。その持ち味を十分に發揮して銅メダルを獲得しました。世界でも十分通用することが証明されたのだと思います。将来は化学者にとどめたい夢を持っています。ノーベル賞を受賞する化学者になつてくれる事を期待したいと思います。

銅メダル獲得おめでとう!!

今年8月にドイツで開催される「エトワリゲン国際ピアノコンペティション」に、高校一年生の鯛中卓也君が出席することになりました。

鯛中君は3歳の頃から鍵盤に親しみ、6歳の時、市内の音楽教室で本格的にピアノを習い始めました。2000年県学生ピアノコンクールで優秀賞を受賞。2002年のピティナ・ピアノコンペティションで、西日本E級地区本選会で優勝し全国大会に出席。ソロ部門E級（高一以下）で約1000名が参加する中で準優勝、同時にロイズ賞を受賞しました。ピティナ・ピアノコンペティションで過去の上位入賞者の中には、現在国際的なピアニストとして活躍している人も多数います。

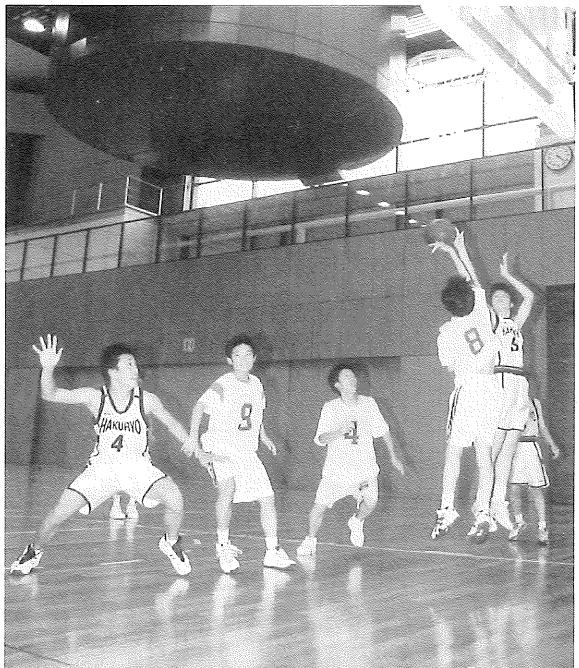
今は、ピアノの英才教育を受けた少年少女が世界中から集まる「エトリゲン国際ピアノコンペティション」の十五歳以下の部に向け1日3時間の猛練習に励んでいます。

7月中旬にはドイツへのリハーサルも兼ねて明石市の会館で演奏会が実施され、コンペティションで披露するバッハの「平均律」やラフマニノフの「ソナタ二番」を演奏しました。

鯛中君の国際舞台での健闘と今後の活躍を期待したいと思います。

# 在校生クラブ活動紹介

## バスケットボール部



僕たちバスケットボール部は高校部は打浪先生、中学部は西尾先生、山岡先生の御指導のもと日々練習に励んでいます。数年前までは旧体育館でしか練習できず、その上他のクラブとの併用もあり、決して環境がよいとは言いきれませんでした。そんな中、記念棟ができる、のびのびと練習ができるようになりますが、やはりそれだけでは激戦区の東播地区で勝ち残るのは難しく、目立った成績は残せず伸び悩んでいました。それでも僕達は少ない練習時間の中、自主的にメニューを組み、作戦を立て、県大会出場を目指して毎日汗を流してきました。

この努力が実を結んだのか昨年の高砂市民大会では見事優勝を果たし、明るい兆しが見えてきました。勉強においても良い成績を残している先輩も少なくなく、まさに文武両道の言葉通りのように思います。今後もより一層の活躍をお知らせできるように僕たちはがんばりたいと思います。



## 生物部

現在生物部には40人近くの部員が在籍し、西口先生・中垣先生の御指導のもと、毎日生物室を拠点として活動しています。主な活動としては、魚やクワガタの飼育観察・校内の植生調査などの多岐に渡る研究を行っています。また校外での活動としては、加古川上・中・下流域の定期的な水質調査や、日本海の生物を調べる

3泊4日の夏合宿などを行っています。加古川調査では、生息する水生昆虫と魚の種類及び個体数、市販の器具を用いて川の水の科学的データを集め、加古川の水質の変化を長期に渡り調べています。

文化祭での展示を1年間の主な研究発表の場とし、部員一同全力を尽くしていますので、是非文化祭では生物部にお立ち寄り下さい。

## 白陵会 平成15年度収支決算報告書(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

科 目	予算額	決算額	差 異	単位 円
事務費支出	96,000	32,540	63,460	
消耗品費	20,000	5,376	14,624	
印刷費	20,000	0	20,000	
通信費	50,000	22,840	27,160	
支払手数料	1,000	3,390	-2,390	
雜費	5,000	934	4,066	
会議費支出	1,000,000	751,414	248,586	
理事会費	100,000	180,856	-80,856	
役員会費	800,000	562,528	237,472	
委員会費	100,000	8,030	91,970	
事業費支出	1,767,500	1,524,596	242,904	
総会費	0	0	0	
名簿発行費	0	0	0	
会報発行費	1,000,000	843,582	156,418	
ホームページ作成費	367,500	334,950	32,550	
卒業記念品費	300,000	296,100	3,900	
慶弔費	100,000	49,964	50,036	
備品費支出	0	0	0	
OB会活動助成金	150,000	120,000	30,000	
涉外費支出	50,000	0	50,000	
予備費支出	500,000	0	500,000	
小計	3,563,500	2,428,550	1,134,950	
総会積立金	250,000	250,000	0	
次年度繰越金	10,354,863	11,542,106	-1,187,243	
合計	14,168,363	14,220,656	-52,293	

科 目	予算額	決算額	差 異	単位 円
前年度繰越金	11,307,363	11,307,363	0	
会費収入	2,760,000	2,760,000	0	
終身会費	2,760,000	2,760,000	0	
臨時会費	0	0	0	
総会費	0	0	0	
会費外収入	101,000	153,293	-52,293	
名簿収入	0	11,100	-11,100	
広告収入	0	0	0	
広告収入(ホームページ)	100,000	140,000	-40,000	
利息収入	1,000	2,193	-1,193	
雜収入	0	0	0	
総会積立金繰入収入	0	0	0	
合計	14,168,363	14,220,656	-52,293	

## 白陵会ニュース

## 白陵会 平成15年度 会務報告

年月日	内 容
15. 5. 20	理事会
15. 6. 23	臨時理事会
15. 7. 5	定例役員会
15. 7. 19	広報委員会
15. 9. 14	白陵運動会
15.11.23~15.11.24	役員親睦旅行
16. 3. 17	理事会

★平成十六年版 白陵会名簿の内容

発行日 平成十六年十二月十五日

収録者 恩師を含め一期生から三十九期生まで約六、六五〇名  
掲載項目 氏名・〒・現住所・電話・勤務先・勤務先電話・最終学歴・クラブ名

規 格 B5版 約340頁

予約頒価 三、八〇〇円(会員予約限定出版)

賛助広告(名簿冊進呈) 広告原稿締切 十月五日  
カラーページ 200,000円 モノクロ1頁 50,000円  
モノクロ1/2頁 30,000円 モノクロ1/4頁 20,000円  
モノクロ1/1頁 10頁 15,000円名刺広告1/10頁 10,000円  
名簿作成賛助金(名簿の巻末に芳名録を掲載)  
問い合わせ先 株式会社サラト 姫路市北条宮の町1-72  
電話 0120-919904(土日祝を除く)お願い 名簿掲載の住所訂正の最終締切は十月十五日とな  
っています。 楽しみにお待ちください。くぞだよ。 住所不明になっている方の消息をご存知の方はぜひお知らせ  
ください。

★平成15年度白陵会総会について

来年、「二〇〇五年は五年に一度の総会開催の年にあたります。  
日程・場所等はこれから理事会で検討し開催要領を取りまとめる予定ですが、前回、「二〇〇〇年の総会以上に楽しい総会にしたいと考えています。前回はソムリエの田崎真也氏による講演会を開催しましたが、次回もぜひ魅惑あるアトラクションを盛り込みたと考えています。懐かしい恩師や同窓生に会える絶好の機会です。★秋の学校行事のご案内――懐かしの母校へ出かけてみませんか  
文化祭 文化祭 九月五日(日)  
運動会 運動会 九月十二日(日)★平成15年度退職教職員紹介  
季典校長(社会) 平成10年4月~6年間  
森本 浅江 森田 浅江  
中井 恵子 家将先生  
忠彦先生 尚洋先生  
藤本佳久氏 (事務) (体育) (数学)  
昭和42年13年5月~昭和51年4月  
昭和43年15年6月~昭和51年4月  
昭和44年9月~昭和51年4月  
昭和45年4月~昭和51年6月  
昭和46年9月~昭和51年2ヶ月  
昭和47年3月~昭和51年6ヶ月  
昭和48年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和49年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和50年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和51年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和52年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和53年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和54年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和55年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和56年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和57年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和58年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和59年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和60年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和61年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和62年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和63年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和64年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和65年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和66年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和67年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和68年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和69年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和70年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和71年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和72年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和73年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和74年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和75年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和76年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和77年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和78年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和79年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和80年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和81年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和82年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和83年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和84年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和85年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和86年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和87年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和88年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和89年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和90年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和91年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和92年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和93年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和94年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和95年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和96年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和97年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和98年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和99年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和100年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和101年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和102年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和103年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和104年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和105年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和106年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和107年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和108年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和109年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和110年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和111年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和112年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和113年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和114年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和115年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和116年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和117年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和118年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和119年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和120年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和121年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和122年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和123年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和124年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和125年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和126年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和127年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和128年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和129年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和130年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和131年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和132年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和133年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和134年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和135年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和136年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和137年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和138年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和139年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和140年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和141年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和142年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和143年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和144年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和145年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和146年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和147年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和148年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和149年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和150年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和151年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和152年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和153年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和154年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和155年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和156年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和157年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和158年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和159年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和160年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和161年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和162年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和163年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和164年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和165年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和166年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和167年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和168年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和169年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和170年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和171年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和172年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和173年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和174年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和175年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和176年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和177年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和178年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和179年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和180年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和181年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和182年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和183年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和184年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和185年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和186年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和187年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和188年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和189年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和190年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和191年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和192年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和193年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和194年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和195年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和196年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和197年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和198年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和199年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和200年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和201年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和202年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和203年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和204年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和205年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和206年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和207年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和208年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和209年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和210年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和211年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和212年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和213年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和214年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和215年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和216年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和217年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和218年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和219年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和220年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和221年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和222年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和223年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和224年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和225年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和226年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和227年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和228年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和229年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和230年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和231年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和232年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和233年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和234年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和235年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和236年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和237年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和238年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和239年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和240年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和241年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和242年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和243年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和244年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和245年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和246年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和247年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和248年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和249年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和250年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和251年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和252年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和253年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和254年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和255年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和256年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和257年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和258年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和259年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和260年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和261年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和262年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和263年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和264年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和265年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和266年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和267年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和268年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和269年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和270年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和271年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和272年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和273年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和274年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和275年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和276年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和277年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和278年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和279年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和280年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和281年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和282年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和283年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和284年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和285年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和286年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和287年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和288年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和289年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和290年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和291年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和292年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和293年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和294年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和295年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和296年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和297年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和298年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和299年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和300年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和301年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和302年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和303年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和304年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和305年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和306年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和307年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和308年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和309年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和310年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和311年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和312年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和313年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和314年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和315年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和316年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和317年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和318年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和319年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和320年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和321年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和322年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和323年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和324年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和325年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和326年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和327年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和328年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和329年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和330年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和331年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和332年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和333年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和334年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和335年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和336年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和337年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和338年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和339年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和340年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和341年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和342年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和343年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和344年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和345年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和346年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和347年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和348年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和349年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和350年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和351年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和352年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和353年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和354年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和355年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和356年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和357年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和358年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和359年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和360年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和361年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和362年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和363年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和364年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和365年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和366年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和367年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和368年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和369年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和370年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和371年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和372年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和373年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和374年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和375年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和376年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和377年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和378年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和379年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和380年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和381年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和382年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和383年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和384年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和385年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和386年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和387年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和388年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和389年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和390年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和391年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和392年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和393年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和394年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和395年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和396年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和397年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和398年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和399年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和400年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和401年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和402年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和403年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和404年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和405年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和406年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和407年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和408年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和409年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和410年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和411年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和412年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和413年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和414年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和415年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和416年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和417年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和418年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和419年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和420年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和421年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和422年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和423年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和424年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和425年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和426年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和427年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和428年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和429年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和430年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和431年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和432年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和433年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和434年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和435年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和436年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和437年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和438年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和439年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和440年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和441年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和442年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和443年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和444年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和445年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和446年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和447年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和448年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和449年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和450年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和451年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和452年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和453年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和454年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和455年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和456年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和457年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和458年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和459年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和460年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和461年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和462年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和463年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和464年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和465年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和466年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和467年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和468年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和469年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和470年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和471年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和472年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和473年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和474年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和475年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和476年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和477年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和478年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和479年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和480年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和481年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和482年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和483年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和484年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和485年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和486年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和487年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和488年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和489年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和490年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和491年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和492年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和493年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和494年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和495年3月~昭和51年3ヶ月  
昭和496年3月~昭和51年3ヶ月